

♠ AIを活用した相続税の調査

Q : AIを活用した相続税の調査が始まるそうですが、どのようなものですか？

A : 次のような内容のようです。

【解説】

国税庁は、令和7年7月から、全国の相続税の税務調査において、人工知能(AI)を活用して選定した事案に基づく調査を始めるとのことです。

AIを活用した相続税の調査事案を選定する流れは、次のとおりです。

① データの収集

全国の税務署から提出された相続税申告書のデータを集める。

② AIによる相続税の税務リスク判断

提出された申告書のデータと過去の申告漏れ等の傾向を照らし合わせ、税務リスクをスコア付けする。スコアは、0から1の間の0.01以下の単位で付けられ、0.5程度はリスク中、1.0に近いとリスク大と判定される。

③ データを各国税局等に戻す

スコア付けしたデータが各国税局等に戻る。

④ 調査事案を選定

スコア等に基づき、税務調査の可否や調査の方法を判断する。

なお、この選定の対象になるのは、令和5年以降に生じた相続に係る相続税の申告書とのことです。

